

読書のすゝめ

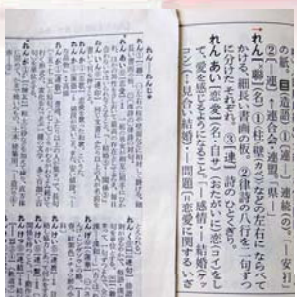
その18

H 28 6 / 27

国語辞典

今年度国語科の予算で国語辞典45冊を購入しました。1月に全面改訂された三省堂の新明解・第七版です。

国語科の授業（国語総合・現代文・国語表現など）で有効に活用したいと思いますが、図書館で管理することになりましたので、日常的に利用してください。



☆ 辞書に関わる本を紹介します！

2012年本屋大賞に選ばれた本ですが、辞書作りに関わる人々がとても丁寧に、また、あたたく描かれています。読後は手元にある辞書をこのうえもなく愛しく感じるハズ！

『舟を編む』三浦しせん（光文社）

玄武書房に勤める馬締光也は営業部では変人として持て余されていたが、新しい辞書『大渡海』編纂メンバーとして辞書編集部に迎えられる。個性的な面々の中で、馬締は辞書の世界に没頭する。言葉という絆を得て、彼らの人生が優しく編み上げられていく。しかし、問題が山積みの辞書編集部。果たして『大渡海』は完成するのか――。

第155回 芥川賞・直木賞候補作（日本文学振興会主催）

芥川賞に又吉直樹が「火花」で受賞して以来、各文学賞への関心が高まったように思われます。芥川賞とは、各新聞・雑誌（同人雑誌を含む）に発表された純文学短編作品中最も優秀なるものに呈する賞です。また、直木賞とは、各新聞・雑誌（同人雑誌を含む）あるいは単行本として発表された短編および長編の大衆文芸作品中、最も優秀なるものに呈する賞で、応募方式ではありません。

選考会は7月19日です！

芥川賞 今村夏子 「あひる」（たべるのがおそい 創刊号）

高橋弘希 「短冊流し」（新潮1月号）

崔実 「ジニのパズル」（群像6月号）

村田紗耶香 「コンビニ人間」（文学界6月号）

山崎ナオコ 「美しい距離」（文学界3月号）

直木賞 伊東潤 「天下人の茶」（文芸春秋）

荻原浩 「海の見える理髪店」（集英社）

門井慶喜 「家康、江戸を建てる」（祥伝社）

原田マハ 「暗幕のゲルニカ」（新潮社）

湊かなえ 「ポイズンドクター・ホーリーマザー」（光文社）

米澤穂信 「真実の10メートル手前」（東京創元社）



※芥川賞候補作品は雑誌掲載のため、受賞作品が単行本になってから図書館で購入となります。関心のある人は個人で該当雑誌を購入してください。

直木賞候補作品では、「海の見える理髪店」「ポイズンドクター・ホーリーマザー」がすでに図書館に所蔵されています。また、他の候補作品は来月中旬に入荷予定です。

※来月12日から蔵書点検がはじまります！（図書委員さんよろしく）

蔵書点検中でも本の貸し出しは通常通りおこないます。

